

うない通信

国立大学法人 琉球大学 ジェンダー協働推進室 ニュースレター Vol.10 平成28年8月発行

琉大アクションプランが改訂されました

男女共同参画についての琉大アクションプラン平成28年度～平成33年度が改訂されました。

平成24年に制定した琉大アクションプランでは、平成24年度～27年度までに本学が男女共同参画について取り組む指針が示されていました。平成28年改訂したアクションプランでは、平成28年度から平成33年度まで本学が取り組むべき男女共同参画についての指針が示されています。アクションプランの内容は、

1. 男女共同参画意識の醸成と情報発信
 2. 職場・研究環境の改善・充実
 3. 女性研究者の上位職への積極的登用に向けた取り組み
- といった3つの分野からのアプローチを提唱しています。この琉大アクションプランは、本学第3期中期目標・中期計画に基づいていることはもとより、平成24年に制定した琉大アクションプランも踏襲して改訂されています。

男女共同参画の推進について ～アクションプラン～

- 1. 男女共同参画意識の醸成と情報発信**
 - (1) 全学的な意識啓発の推進
 - (2) HP、ポスター、リーフレット等を活用した情報提供
 - (3) 男女共同参画の取り組みや女性研究者の活躍等の学外への積極的な情報発信
 - (4) 男女共同参画やジェンダー学関連の教育科目等の充実
- 2. 職場・研究環境の改善・充実**
 - (1) 研究に専念できる環境整備の推進
 - (2) 女性研究者支援のための学内予算の確保
 - (3) スキルアップ支援の積極的な実施
 - (4) ワーク・ライフ・バランスの推進
 - (5) 柔軟な勤務体制の確立に向けた取り組み
 - (6) 女性比率向上に向けた人事プロセスの確立
 - (7) 相談・支援体制の整備
- 3. 女性研究者の上位職への積極的登用に向けた取り組み**
 - (1) 女性教員在職比率向上に向けた目標値の設定(平成33年度末までに19%以上)
 - (2) 女性教職員の指導的地位への登用など職位別男女比率を平成33年度までに20%以上達成
 - (3) 女性研究者のリーダーシップの育成

女性研究者をリーダーとするグループ研究に3名が採択されました

平成28年度より新設された本学「若手・女性・外国人研究者支援研究費」の「女性研究者支援研究費：グループ研究」に、法務研究科の矢野恵美先生、教育学部の岡本牧子先生、農学部の陳碧霞先生が採択されました。研究プロジェクトにおける女性研究者リーダーの育成を目的とする本研究費の新設によって、女性研究者のリーダーとしてのさらなる資質向上を図る体制が整備されました。

教授会 FD 研修実施中



現在、ジェンダー協働推進室では「大学改革とジェンダー協働推進：ダイバーシティ時代の取組」というテーマで、各部局の教授会においてファカルティ・ディベロップメント(以下、FD)を行っています。FDでは、各部局の男女共同参画の状況を分析したデータを用いて、ダイバーシティ時代の大学改革について言及し、ダイバーシティ時代の大学改革とは、女性、外国人、障がい者といった具合に、多様な立場と価値観を持った人々が共存できる状況が大切であり、他方で、その実現には、具体的に共存が可能なしくみを作り上げることが重要であることを説明しています。ダイバーシティの重要な指標でもある女性教員比率は、開かれた大学の指標として、今後の大学改革においてますます重要な指標となっていくでしょう。

ジェンダー協働推進室マネージャーが各部局を巡回するこのFDは、これまで、5月25日に農学部、6月22日に工学部、7月27日に医学部にて実施されました。8月17日には理学部にて実施予定です。今後、文系の部局にも順次FDを実施する予定です。

法文学部 多目的休憩ルーム

平成27年度に配分されたインセンティブ経費を活用して、法文学部共通教育棟に育児機能も備えた多目的の休憩室が設置されました。

室内には、ベビーベッドやソファのほかに電子レンジや冷蔵庫などが配置されており、体調がすぐれない時の休憩室としての利用だけでなく、搾乳や授乳、オムツ替え等にも利用することができます。

インセンティブ経費は公募により女性研究者を採用した部局等に配分されており、教育や研究活動の環境整備等に使用されています。平成27年度は法文学部を含む4つの部局等(法務研究科、教育学部、機器分析センター)に配分されました。



図書館 うない文庫リニューアル

本学図書館の2階に、ジェンダーや男女共同参画に関連する本をそろえた「うない文庫」のコーナーがあるのを皆様ご存知でしょうか?これまでのうない文庫コーナーには、ジェンダー協働推進室が行っている活動の情報およびジェンダーや男女共同参画に関する本がアト・ランダムにおいてありました。図書館では、学生を中心とした利用者の興味や知的関心をより満足できるように、8月より「生き方の多様性を応援する」をスローガンにさまざまな切り口からジェンダーに関連する本をラインナップしていく予定です。

8月は、「知っていましたか?男女格差の国際比較」というテーマで、男女賃金格差、男女家事労働格差について取り上げ、関連本を取り揃えています。



ゆい出前カフェ (新設)のご案内

「ゆい出前カフェ」は、ジェンダー協働推進室スタッフが適宜学内に出向き、女性研究者と意見交換・情報交換を行うことを目的に、女性研究者の育児、介護、ワークライフバランス等に関する新たな情報交換や交流の場となります。

ぜひご利用ください。

対象：本学に在籍する女性研究者
 申込方法：ジェンダー協働推進室宛にメール (gender@to.jim.u-ryukyu.ac.jp) にて以下の事項を明記の上、お申込み下さい。

- (1) 件名：ゆい出前カフェ申込み
- (2) メール本文

①意見交換・情報交換したい具体的な内容(当推進室の活動内容、育児・介護といったテーマに限らせていただきます)
 ②出席者人数(複数名で行う場合)

注意点：
 ・「出前」日程は、お申込みメールをいただいた後、調整させていただきます。
 ・お申込みは随時受け付けていますが、時期・内容・希望者人数により「出前」実施にお時間をいただくこともあります。ご了承ください。
 詳細は当室WEBサイトをご覧ください。

編集後記

平成28年度のジェンダー協働推進室の活動が始まり、5か月目に突入いたしました。本年度から女性教員短期研究専念制度の試行、教授会におけるFD、そしてゆい出前カフェ(出張形式の相談・サポートサービス)など新たなサポートサービスが始まりました。また、今年度から女性研究者をリーダーとするグループ研究費の新設も実現することができました。新たな活動によってより充実したサポートを目指します(マ)。

今後の予定

- 平成28年度第2期「研究活動等支援員制度」募集：8月上旬(予定)
- 平成28年度第2期国際学会派遣費用助成事業募集：10月(予定)
- 平成28年度第2期英文校閲費用助成事業募集：10月(予定)
- スキルアップセミナー「第1回及び第2回英語論文Writingプログラム(仮)」10月1日(土)・2日(日)開催(予定)
随時、当室WEBサイトでご案内いたします。

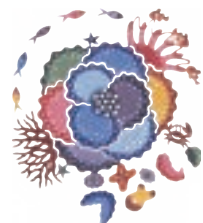
第8回 九州・沖縄アイランド 女性研究者支援シンポジウム in 沖縄を開催します

琉球大学と沖縄科学技術大学院大学は、九州・沖縄女性研究者支援ネットワーク(Q-wae)との共催により、「第8回九州・沖縄アイランド女性研究者支援シンポジウム in 沖縄～九州・沖縄の国際化と女性研究者の役割～」を下記のとおり開催します。ぜひご参加ください。

日時：平成28年11月11日(金)13:00～17:30
 場所：琉球大学学生会館
 プログラム：○基調講演
 ○パネルディスカッション「大学の国際化に果たす女性研究者の役割」
 参加費：無料
 当室WEBサイトでご案内いたします。

国立大学法人 琉球大学 ジェンダー協働推進室 Gender Equality Promotion Office, University of the Ryukyus

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1番地 大学本部1階
 TEL：098-895-8675 Email：gender@to.jim.u-ryukyu.ac.jp
 URL：http://www.gender.jim.u-ryukyu.ac.jp



キャリアデザインフォーラムを開催しました

平成28年6月20日(月)、6月27日(月)、7月11日(月)(於: 本学50周年記念館)および7月25日(月)(於: 地域創生総合研究棟)に、「キャリアデザインフォーラム 2016 国際化とジェンダー: 沖縄の未来を創るのは私たち」を開催しました。

本講演は、本学の共通教育科目「キャリアデザインとジェンダー」の授業の一部を一般公開した形式で開催されています。海外経験のある講師を沖縄県内外からお迎えし、キャリアデザイン、ワークライフバランス、国際的な活躍の経験、国際的視野を持つ意義についてお話いただきました。フォーラムは全4回で、第1回目は、(有)インターリンク沖縄取締役の豊川明佳氏が「夢へのプロセス〜3つのチャ・チャ・チャ〜」、第2回目は、パークレイズ証券(株)顧問の益戸正樹氏が「ジェンダー: パネルディスカッションから学ぶ」、第3回目は長崎大学熱帯医学グローバルヘルス研究科の松山章子氏が「研究と実践を繋ぐ: 国際保健の現場での模索」、第4回目は国連人口基金東京事務所所長の佐崎淳子氏が「国際機関で女性が働くということ: 開発途上国の現場や本部での経験から」について講演されました。



部局長訪問を行いました



ジェンダー協働推進室では、平成28年2月から6月にかけて、本学の男女共同参画の推進を目的とした部局長訪問を7つの部局で実施しました。まずは2月9日の医学部を皮切りに、2月12日に農学部、2月18日に理学部、2月23日に工学部、5月30日に法文学部、6月2日に観光産業科学部、6月8日に教育学部を訪問し、各部局の学部長と、外間登美子ダイバーシティ推進本部長および喜納育江室長が意見交換を行いました。意見交換の前に、小林かおりマネージャーから、各部局の男女共同参画について分析したデータを元に15分ほどのプレゼンテーションがありました。男女共同参画の状況は、部局によって取り組み方はそれぞれ異なりましたが、すべての部局において積極的な質疑応答や意見交換が行われました。この部局長訪問において、喜納室長から各部局長へ、教授会の際にFD「大学改革とジェンダー協働推進」を実施できるよう申請を行いました。

Pacific Science Congress で発表を行いました



平成28年6月13日~17日に、台湾のAcademia Sinica(中央研究院)においてThe 23rd Pacific Science Congress -Science, Technology and Innovation- が行われ、本学を代表してジェンダー協働推進室の小西照子副室長が発表を行いました。発表テーマ「琉球大学の男女共同参画推進: 島嶼環境における研究機関の課題」の中で、男女共同参画推進における課題、特に女性教員を増やすにあたっての課題について、首都圏から離れた地域に立地する大学ゆえのデメリットおよび島嶼域に立地する本学ゆえのメリットの観点から議論し、その課題解決のための取り組みとして女性研究者支援の重要性と必要性について述べました。さらに、アジア太平洋地域における国際的なネットワークを活かした取り組みの展望など、本学における男女共同参画推進の将来構想について発表しました。

平成28年3月~7月の主な活動

第2回スキルアップセミナー

第2回スキルアップセミナー教職員、大学院生の英語による研究成果発信の強化と能力向上を目的としたスキルアップセミナーを開催しました。

「英語論文ライティング講座 ディスカッション特訓編」
日時: 平成28年3月6日(日)
講師: Dr. Trevor Lane, Dr. Julian Tang
(エダンス グループ ジャパン株式会社)



第1回ダイバーシティ推進セミナー

大学におけるダイバーシティの推進と女性研究者支援の必要性に資する意識啓発事業としてダイバーシティ推進セミナーを開催しました。全学から約40名の教職員が参加しました。

演題: 「大学改革と男女共同参画の推進」
日時: 平成28年3月10日(木)
講師: 筑波大学ビジネスサイエンス系教授、
お茶の水女子大学監事 吉武博通氏



女性研究者のためのリーダーシップ研修

本学女性教員を対象とした「英語による女性研究者のためのリーダーシップ研修」を、カリフォルニア大学バークレー校から講師陣を招聘し開催しました。延べ14名が参加しました。

「第1回女性研究者のためのリーダーシップ研修」
日時: 平成28年3月21日(祝)~22日(火)
講師: Dr. Linda Von Hoene, Dir. Sabrina Soracco
(University of California, Berkeley)



サイエンスプロジェクト for 琉球ガールズ

琉球大学と沖縄科学技術大学院大学の共催で、次世代を担う理系進学に関心のある女子高校生を対象に、科学に対する興味を深め、将来の進路選択の一助となるよう、研究者による講演・実験と、女子学生も交えた交流会を開催しました。

「サイエンスプロジェクト for 琉球ガールズ 一本島編」
日時: 平成28年3月25日(金)~26日(土)
会場: 琉球大学亜熱帯フィールド科学教育研究センター
与那フィールドおよび沖縄科学技術大学院大学



慰霊の日託児ルーム開設

平成28年6月23日(木)慰霊の日に合わせて、大学会館において託児ルームを開設しました。18名の教職員が利用し、26名の子どもたちを受け入れました。

風樹館で生き物と触れ合ったり展示物をスケッチしたり、お菓子作りや工作をするなどして仲良く過ごしました。



琉球大学オープンキャンパス



オープンキャンパス企画「女性研究者による理系女子のための自然科学分野紹介」を開催しました。漢那洋子准教授(理学部)による講演と実験を行い、参加した約20名の高校生に、研究の紹介と共に自然科学を学ぶことの魅力を自身の経験を交えながら伝えました。

「女性研究者による理系女子のための自然科学分野紹介」
演題: 「光化学研究の醍醐味と自然科学を仕事とする充実」
日時: 平成28年7月16日(土)
講師: 漢那洋子准教授(理学部)